

側といった関係性を越えた地域のつながりの中で、住民が主体的に自助・互助でできる身近な生活支援サービスをたくさん増やしていくことが大切。そのためにも、地域に足りない社会資源を丁寧に掘り起こしていく必要がある」とポイントを確認しました。

3月12日、大阪府介護者(家族)の会連絡会は、府内26会から103人が参加し、全体活動交流会を開催。第1部では、桃山学院大学の川井太加子教授から、「介護保険改正に伴う地域の役割とは」と題した講義が行われました。



桃山学院大学
川井 太加子 教授

川井教授は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるための地域包括ケアシステムの構築に向けて、「本人・家族に地域で住み続けたい気持ちがあることや住まいが確保されていることを前提としながら、支援する側・される

さらに、介護者の会への期待として「これまで積み重ねてきた介護経験者としてのノウハウを活かして、例えば地域に開かれた居場所づくりなど、地域に必要なものを自分たちで見つけて、発信し、新たに創り出して

いってほしい。そのためにも、身近な存在である社協や地域包括支援センターを巻き込んで、多様な主体とつながることを大切にしながら、より住みやすいまちづくり・支えあいのしくみづくりをともに考えていきたいと思います」と結びました。

【グループ別交流会】

続いて第2部では「①役員の担い手づくり」と「②会員確保」の2つをテーマに、交流会を実施。ブロックを越えて、各会の

改正介護保険スタート

介護者(家族)の会で交流会を開催

平成27年度よりスタートする改正介護保険制度。これまで以上に地域における支えあいのチカラが求められる中、介護者(家族)の会は今後どのような役割を果たしていく必要があるのでしょうか？ 当事者組織として、ひとりの介護者として、地域への関わり方を考える機会となりました。

介護者(家族)の会でしかできないことは何であるのかを確認しながら、今後は、高齢者やその家族のみならず、地域で暮らす、さまざまな当事者(障がい児者、若年性認知症等)や介護者と連携を深めていき、介護福祉の分野に限らず、仲間の輪を広げていきます。

藤井寺市 民生委員と医療・福祉専門職による交流会を開催！

藤井寺市では、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりを目指して、平成19年から「医療・ケアマネネットワーク連絡会」を組織し、毎年、研修会などを開催しています。

介護保険制度の改正を控え、医療・介護・地域の連携の重要性を学ぶため、昨年12月20日に開催した交流会には、民生委員・児童委員やケアマネジャー、医



グループ別交流会で想いを共有。
「自分たちの経験を地域に伝えていきたい」

師、歯科医、薬剤師、看護師、MSW(医療ソーシャルワーカー)等98人が参加しました。参加した民生委員からは「いろいろな職種の方と会い、顔を知ることができた」、ケアマネジャーからも「どの職種も同じような困難さを感じている。孤立している方の支援につながれば」といった感想が寄せられ、高齢者支援に携わるそれぞれの役割を学び合い、共通した課題の解決に向けて一層連携を深めていくことを確認し合うことができました。

北摂ブロック地域貢献委員会(施設連絡会)関係者交流会

小地域単位での

交流を大切に

や、社会情勢の変化に伴い複雑・深刻化する制度の狭間の課題等を背景として、「地域との連携」や「災害支援」「生活困窮」などを切り口に、参加者からは「地域と施設がお

地域福祉を支える「ひと」

このコーナーでは、地域福祉の実践を支える「ひと」に話を伺い、「地域での出会い(きっかけ)」や「活動のひろがり」を紹介しします。



田中 まさ子さん
大阪府介護者(家族)
の会連絡会 会長

介護者の 声を届ける

大阪府介護者(家族)の
会連絡会は、平成8年2
月に設立。今年度、20周
年を迎えます。

◎家族の会での活動歴は？

貝塚市介護者家族の会「コ
スモスの会」の設立当時から
なので、17年目になります。
あつという間でした。

◎会員同士とても仲が良いの が印象的ですね

「誰がくしゃみをしたか分
かる仲です。会員同士のつな
がりが高く、事務局である社
協と仲が良いことも自慢です。

◎家族の会の役割を教えてください？

介護の悩みを聞き、共有する
ことです。同じ想いを持つ人が
集まるので、不安や愚痴を安心
して言い合えます。介護者に
とって、心のよりどころであり
たいと活動を続けています。

◎府の連絡会の役割は？

府の連絡会には26会が参画し
ており、1市では取り組めない
ことに對し、府域で連携するこ
とができるので、心強いです。
また、勉強する機会も多くある
ので、刺激になります。

◎介護保険の改正に対して、家 族の会の考えは？

26会の声を聞き、行政に訴え
かけていきたいですし、当事者
の立場から地域で声を出し続け
ることが大事だと思っています。

◎やりがいは何ですか？

近年では、認知症サポーター
養成講座の講師として、介護の

経験を話す機会も増えました。
ある方から、「介護に悩んで
いる人の心に言葉が届きま
す」と言われ、とてもうれし
かったです。このような活動
を継続していくことで、家族
の会の存在を知っていただけ
ると思います。

◎20周年を迎えるにあたって の想いを一言お願いします

多くの方が関わった活動の
積み重ねで、現在があります。
その歴史を大事にしつつ、新
しい一歩を踏み出したいです。
介護に悩む人だけでなく、
困ったことがあれば気軽に行
ける身近な居場所を作りたい
ですね。

広がる地域貢献委員会 府内に24!!

寝屋川市社協では、2月18日
に「寝屋川市社会福祉協議会地域
貢献委員会」が設立されました。
本委員会には、市内の47社会福
祉法人が会員として参画し、さま
ざまな地域福祉課題の解決に向け
て、社会福祉法人らしい取り組み
を進めていく予定です。

枚方市社協では、3月12日に
「枚方市社会福祉施設地域貢献連
絡会」が設立され、今日的な福祉
課題の解決に向け、種別を超えて
連携協力し、社会福祉法人のある
べき姿を示していこうと、市内の
社会福祉法人47団体でスタート
しました。

現在、設立準備に向けて協議を
進めている社協もあり、昨今の地
域福祉課題の変化や社会福祉法人
制度の見直しを踏まえ、府域での
オール大阪の社会福祉法人による
社会貢献事業の動きと関連づけな
がら、地域に根差した地域活動の
開発・実践が重要です。

府社協は、3月9日、北摂
ブロックの社協と地域貢献委
員会の会員施設による交流会
を開催。7市1町から22人が
参加しました。

地域貢献委員会は、市町村
社協がプラットフォーム機能
を発揮し、社会福祉法人・施
設と地域(地区福祉委員会や
民生委員)をつなぐことで、
一層の地域福祉推進を図り、
さらには種別を越えて施設同
士が連携し、その施設機能や
専門性を活かした具体的な地
域課題にこたえるこ
とのできるしくみ
として、府内24の
市町で設置されて
います。(平成27
年4月1日現在)
昨今の社会福祉
法人をめぐる議論



互いを知りあうことが大切」
「地域活動への主体的な関わ
りを意識し、専門職の派遣や
場の提供など協力可能な内容
をまとめた一覧表を作成して、
積極的に地域へ出向いてい
る」「小地域での活動計画づ
くりや地区懇談会などの場を
活用しながら、住民ニーズを
しっかりと受け止め、専門職
も含めた多様な主体との協働
をしかけていく必要がある」
など、活発な意見交換が行わ
れ、今後の地域福祉推進の要
として、施設が地域
に果たす役割を共有
する機会となりました。
今年度も引き続き、
府域での設置促進と
活動の活性化を図っ
ていきます。